

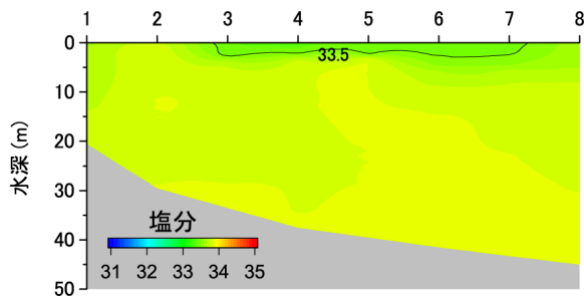
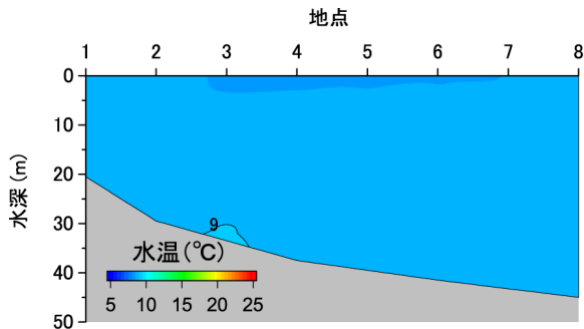
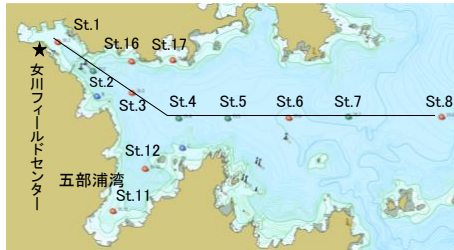
女川湾定期観測情報 (2月)

発行：東北大学マリンサイエンス復興支援室

女川湾の海況 (2020年2月20日)

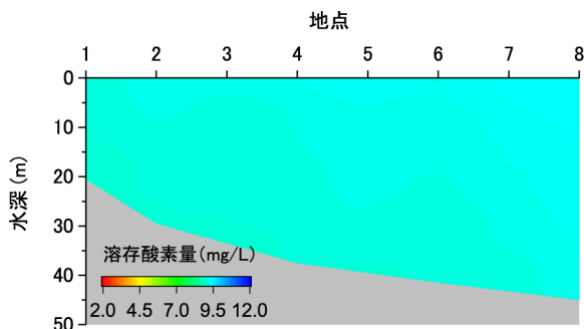
① 水温・塩分

水温は8.2～9.1℃の範囲にあり、過去5年間と比較して平均で0.4℃高かった。塩分は33.4～33.9の範囲にあった。水温はほぼ一様だが、表層でやや低く、底層ほど高くなる傾向にあった。塩分は表層でやや低く、底層ほど高くなる傾向にあった。



② 溶存酸素

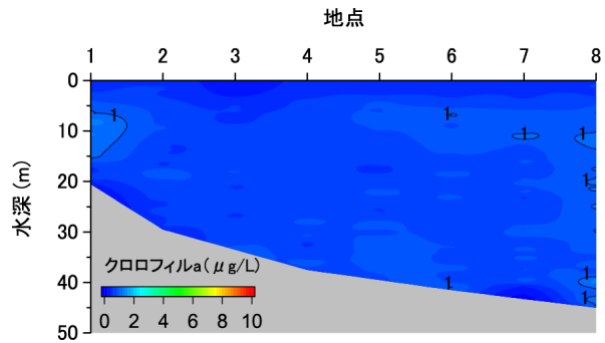
9.0～9.5 mg/L (96.3～101.5%) の範囲にあった。湾内全体で一様に高い値を示した。



※水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値) : 4.3mg/L 以上

③ クロロフィル a

0.3～1.7 μg/L の範囲にあった。湾内全体で一様に低い値を示した。



※クロロフィル量 (μg/L) の目安

1以下	少ない
1～3	普通
3～5	多い
5～10	かなり多い
10以上	非常に多い(赤潮状態)

広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター
ホームページより

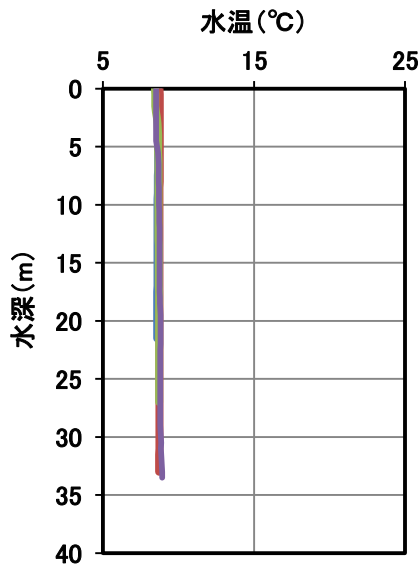
④ 定点の水温、塩分、溶存酸素等の数値データ

地点	深度 [m]	水温 [°C]	塩分	溶存酸素量 [mg/L]	クロロフィル a [μg/L]
1	5	8.6	33.7	9.1	0.9
	15	8.8	33.8	9.0	1.2
3	5	8.7	33.8	9.2	0.7
	15	8.7	33.8	9.1	0.7
	25	8.7	33.8	9.1	0.7
5	5	8.9	33.8	9.3	0.9
	15	8.9	33.8	9.2	0.7
	25	8.8	33.8	9.2	0.8

養殖場の水質環境 (2020年2月20日)

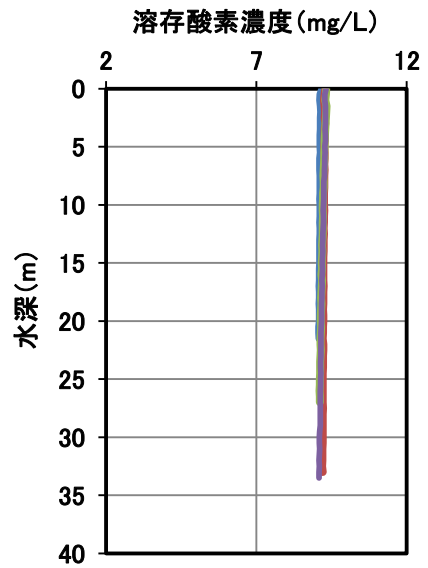
①水温

8.4~8.9℃の範囲にあった。いずれの地点でも鉛直的にほぼ変化はなかった。



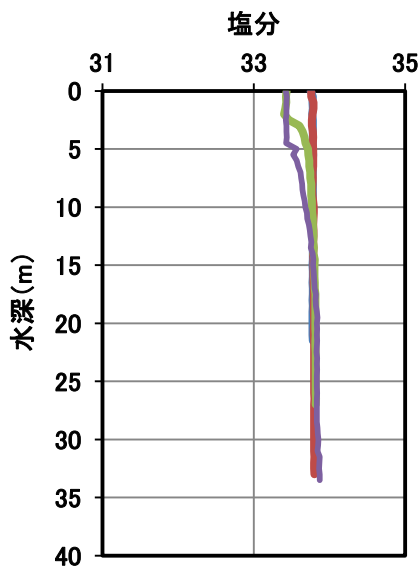
③溶存酸素

9.1~9.3 mg/Lの範囲にあった。いずれの地点でも鉛直的にほぼ変化はなかった。



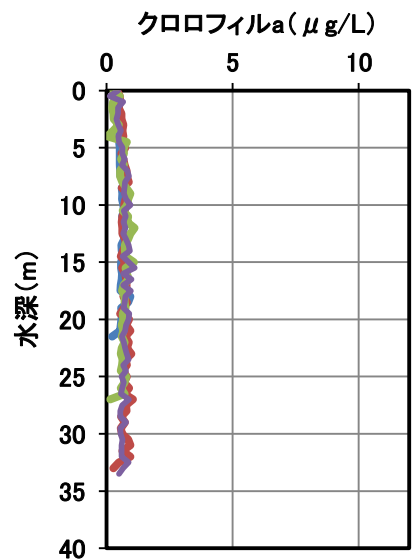
②塩分

33.4~33.9の範囲にあった。桐ヶ崎や竹浦では表層でやや低い値を示した。



④クロロフィルa

0~1.1 μg/Lの範囲にあった。いずれの地点でも表層でやや低く、海底付近でもわずかに低くなる傾向にあった。



本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室
E-mail: agr-marin@grp.tohoku.ac.jp
までお問い合わせください。